

超満タン

昨年12月に買い付けたアメリカ広葉樹原木が順調に服部商店の工場に入荷しています。買い付けた順番はウイスコンシン・オハイオ・ペンシルバニア・バージニアですが、入荷してきた順番はバージニア・ウイスコンシン・ペンシルバニア・オハイオでした。

昨年の6月に開通した新しいパナマ運河のお陰で2ヵ月以上時間が必要なバージニア・ペンシルバニアが凄く速く到着したことで、来シーズンの買い付け計画を多少の変更しようと考えています。

2月上旬に最初に入荷しましたバージニアのホワイトオークを1コンテナ製材しました。中身はまずまずだったと思います。買い付け時に懸念していたリスク『品質』はかなり減ったと思います。5ヶ月自然乾燥を施し1ヶ月間の低温乾燥を施した7月末に最終の結果が出ると思います。

次に製材したのは、ウイスコンシンのバースウッドとハードメープル（バズアイ・カーリーを含む）です。この二樹種はシラタが主体の商品です。最も製材時の注意が必要な樹種です。

その注意点は以下の4つです。買いつけた原木の産地・製材方法・製材時期・乾燥方法どれ一つ欠けても大阪で製材する事は出来ない事は過去の実証実験で証明されています。

3年ほど前の3月後半に良くない産地の原木で製材しましたが、何とか棧の後（ステッカーマーク）は入らないように出来ましたが、今一つ色が上手く仕上がりませんでした。茶色っぽい白色にしかありませんでしたが、直仕入に変更した昨シーズンの実証テストでは見事に真っ白に仕上がりました。服部商店が直接仕入れしているアメリカ最高のシッパーの材に負けない色に上がりました。

今回コンテナ8本買いつけた広葉樹原木の大体の製材の順番は下記です。

- 1、バースウッド
- 2、ハードメープル
- 3、ホワイトオーク
- 4、チューリップウッド
- 5、レッドオーク
- 6、ブラックチェリー
- 7、ブラックウオールナット

この様な順番に製材していく為に服部商店の本社工場は超満タン状態です。2月～4月の3か月間で80%以上製材を済ましていく事を目標にしています。



ブラックチェリー・チューリップウッド



ブラックウオールナット・ブラックチェリー・ホワイトオーク・レッドオーク

第16回服部商店・勉強会



製材したバズアイ・メプルです。



製材機に載せて、いよいよ製材です。



鋸を入れ始める



鳥の目の杓が出た板を確認して頂きました。



見事に鳥の目の杓が出た板です。

小生の説明に耳を傾けて頂きました。



ハードメープル・服部商店オリジナルの乾燥方法を聞いていただきました。

2017年2月18日の午前10時～1時間の日程でアメリカ広葉樹のハードメープル『バーズアイ』原木の製材を見て頂きました。今回も色んなジャンルの方に見て頂きました。材木屋・木工所・中学校の先生・工房・エンドユーザーの方々です。

買いつけた原木・製材方法・製材時期・乾燥方法も優れていなければ、ハードメープル材を大阪で製材する事は大変な事です。4つのキーワードの一つでも誤りが有れば、良い製材品は生み出されません。

過去の勉強会でアメリカ広葉樹原木の製材を見て頂いています。ホワイトオーク・ブラックウオールナット・ブラックチェリーですが、今回例年の3月中旬の開催から約1か月繰り上げて開催して見て頂きましたのは、ハードメープル材が特殊な樹種の為です。

最近の日本国内の広葉樹のトレンドはブラックウオールナットとホワイトオークですが、服部商店の考え方は御客様に欲しがられる商品を提供する事です。それには昔から引き継がれた事も大事です。その話は以下です。

景気の悪い時期には白い樹種（ハードメープル・ホワイトオーク）が求められる。景気が良くなれば赤い樹種（ブラックチェリー・レッドオーク）が求められる。この話は20年昔まで当たっていました。

しかしブラックウオールナットは違いますが、どちらにしても現在の日本の景気はアメリカ経済に左右される踊り場に有る事は間違いない事実だと思っています。

ハードメープル材は広葉樹の仲間でも色の白い樹種ですのでこの樹種を手掛ける事は極当たり前の材木屋のスタンスと考えています。

従って昨シーズン実証テストをして良い製材品を生産できる体制が整ったので今シーズン本格的に日本国内で生産する事が一番難しいハードメープル材を昨年比4倍の数量を手掛ける様にしました。



素人が作成したブルーレイですが、編集も全くしていないので、約1時間の間に小生が話した事もすべてが撮影されていると思います。別紙にこのブルーレイのお申込み用紙を用意していますので、製作費用の実費負担（切手で500円）を頂ければ、送付させていただきます。

第403回旭川銘木市

2017年度の2回目の広葉樹銘木市が2月24日に北海道旭川にて開催されました。出品数量は10,527本3,099.679M3です。1月の市に比べると品質的には10%位落ちています。

平均の販売単価が10%下がっているので10%品質が下落したと小生は思います。

昨年の秋口から始まった広葉樹の需要と供給の傾向はナラ材の高騰が凄く目立っています。ただしナラ材と一口に言っても全体が高騰しているのでは有りません。上級材だけの独歩高状態になっています。目が荒くシラタが多く姿形の悪い下級材は一昨年と比較すると10%は下がっていると思いますが、しかし上級材に関して言えば20%以上価格上昇していると思われます。

理由は輸入材のホワイトオークは為替で10%原価が上昇していることと同材の日本向けベニヤグレードのJAPAN・Aグレードが昨シーズン以上に供給不足になっている為にオーク・ナラ材の上級材のみ価格上昇しています。

服部商店にはアメリカで買い付けたホワイトオークと色の白いレッドオークは多く有りますが、御客様のご希望で、オークでは駄目、ナラでない駄目と言われる現場もあるので、凄く戸惑っています。

ナラ材は次の404回市にロシア材の出品が有るとの情報を聞いているので、来月頑張って買い付けしようと思っています。

今回買い付けしたのはナラ以外の樹種が主な内容です。シュウリサクラ・ホオ・ハンノキ・クリ・キハダ・カシ・カツラ・ブナです。

広葉樹の市は事実上来月で今シーズンが終わりです。4月～6月も市は開催され小生は参加しますが、良質材を仕入する事は3月の市で終了します。



展示場は3カ所に分かれていました。

← 第一展示場



第二展示場



第三展示場

第16回服部商店勉強会のブルーレイの申し込み用紙

FAX 072-422-8577

info@hattoriwood.co.jp



アンケートをお願いします。

- 1, 2017年2月18日に開催しました第16回服部商店勉強会『バーズアイメープルの製材』に興味がある。

はい

いいえ

『はい』の方でブルーレイを送付希望の方は下記の用紙にて記入頂けたら送付いたします。『申し込み用紙・実費（切手で500円）・送料・消費税を含む送付願います。』

その他ご質問があれば下記にご記入下さい。

会社名	
担当者名	
連絡先住所	
御電話番号	
FAX・メールアドレス	

(株)服部商店

596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

TEL 072-438-0173・0511

FAX 072-422-8577